

2026年度
委託学生入学試験要項



自分が変わる、未来を変える。

目 次

アドミッション・ポリシー	1～4
1. 募集学科・募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 入学試験日程	5
4. 出願書類	5
5. 入学検定料	6
6. 出願上の注意	6
7. 心身に障害のある場合	6
8. 選考方法	6
9. 試験会場および集合時間	7
10. 試験当日の注意	7
11. 合格発表	7
12. 入学手続き	7
13. 納付金	8～9
14. 入学後の取扱い	9
出願から入学まで	10
試験会場案内図	13

アドミッション・ポリシー

大同大学工学部、建築学部および情報学部では、次のような人を広く求めています。

(知識・技能・思考力)

- (1) 新しいものを創ることに興味をもち、工夫することができる人
- (2) 専攻する分野を学ぶための基礎的な知識や技能を有している人

(判断力・コミュニケーション力)

- (3) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (4) 豊かな感性と表現力をもつ人
- (5) 人格を尊重しあい、他者と協調できる人

(関心・意欲・態度)

- (6) 自己の能力向上に意欲をもち、将来の夢や目標を見つけたい人
- (7) 目標に向かって自己を開拓する意欲を持っている人
- (8) 学科・専攻の研究領域に興味をもち、専攻する分野の勉学への熱意をもつ人
- (9) 地域や社会との関わりに興味をもち、発展に貢献したい人

<機械工学科>

機械工学は、「ものづくり産業」に直接的に結びついた学問です。日常の生活で利用している産業製品は機械工学という学問と科学技術の結集によってつくられたものです。機械工学科では、これらの製品および製品を生み出す機械をつくるための基礎から応用までの知識と技術を有し、自ら学び、考え、行動できる人材を養成します。加えて、産業界の最先端技術の動向、知的財産権、情報技術、環境問題などについて学び、社会人・技術者としての素養を身につけ、人間・環境に優しい機械やものづくりを創造する能力を身につけることを目標としています。

機械工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械のしくみ、構造、機能などを考えて、創造的な機械・製品を設計したい人
- (2) 専門分野を学ぶための基礎知識を持っている人
- (3) 広い視野と健全な価値観を持ち、それを表現し他者と協調できる人
- (4) 機械工学を通じて、自らの目標を見つけられる人
- (5) 機械工学科の理念と特色を理解し、強い興味と勉学への熱意を持つ人
- (6) ものづくりが好きで、積極的にものづくりに挑戦したい人
- (7) 地球環境問題や社会貢献に関心を持っている人

<機械システム工学科>

機械システム工学科では、基盤とする機械工学に加え、エネルギー工学、自動車工学、航空宇宙工学、ロボット工学などの応用工学をバランスよく教育します。また、ICTを積極的に活用して、製図やCAD教育による機械設計技術や基礎的な電気・電子・制御技術の習得、さらに最先端の産業用ロボットなどを使用した実践的な学修を通して、複数の学問領域にまたがった対象を1つのシステムとしてまとめ上げることのできる「創造性豊かな」エンジニアを養成することを目標とします。

機械システム工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械と電気・電子技術を総合した創造性豊かな「ものづくり」に意欲的に取り組むことができる人
- (2) 機械工学や周辺技術（電気・電子工学、制御工学、メカトロニクス、プログラミングなど）の専門分野を学ぶための基礎知識や技能を持っている人
- (3) 実社会で活躍しているエネルギーシステム、自動車システム、航空宇宙システム、ロボットシステムなどに興味や関心がある人
- (4) 発見した課題や問題に対し、熱意をもって考えることができる人
- (5) 技術コンテストなど課外活動に積極的に参加する意欲のある人

<電気電子工学科>

電気電子工学科では、現代社会を支えるエネルギー、コンピュータ制御、ナノテクノロジーの3つの学問領

域にわたる知識や技術を体系的に教育することを目指しています。これら3つの学問分野をシステムとして有機的に結びつけた教育により、基礎から応用までの知識と技術を有した持続可能な社会に貢献できる人材を養成します。授業ではハードウェアからソフトウェアまで総合的に学習し、再生可能エネルギーから最先端のナノテクノロジーまで、講義と実験を組み合わせた多くの実践的な授業を通して、自ら考え、行動できる能力を身に付けることを目標としています。

電気電子工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 電気電子工学の専門分野を学ぶために必要な数学、物理の基礎学力を有している人
- (2) 電気電子工学の専門分野に興味をもち、勉学への熱意を持つ人
- (3) 「ものづくり」に興味や関心がある人
- (4) 広い視野と健全な価値観を持ち、決断力と行動力がある人
- (5) 新しい価値の創造に興味を持ち、その実現に向け工夫し、努力する人

<建築学科 建築専攻>

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 建築専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

建築専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持つようとする人

<建築学科 インテリアデザイン専攻>

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 インテリアデザイン専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

インテリアデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持つようとする人

<建築学科 かおりデザイン専攻>

かおりデザイン専攻では、空間の快適性に密接に関係する「におい・かおり」について学びます。人の心や生活環境における「におい・かおり」の特性と役割、活用法などの基礎知識を身に付け、「におい・かおり」の測定・評価技術を修得し、「におい・かおり」を活用した豊かな生活がデザインできる能力を養成します。

かおりデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 様々なにおい・かおりに興味や関心のある人
- (2) 生活環境の様々な事象に興味や関心があり、問題点や課題を見出し、解決策を考えることに意欲的な人
- (3) 調査・実験の手順等を様々な角度から考え、組み立てることができる人
- (4) 調査・実験等にグループで協力して取り組める人
- (5) 様々な課題に対して誠実な態度で臨むことのできる人

- (6) 実験・実習に積極的に取り組むことのできる人
- (7) 生活の中の不快なにおい問題を解決し、かおりを適切に活用していきたいと考えている人

＜建築学科 都市空間インフラ専攻＞

都市空間インフラ専攻では、都市に必要な施設を適切に整備するための調査・計画、設計、施工、ならびに管理の方法や、都市の抱える様々な環境問題を解決する方法等について教育します。わたしたちが安心して快適に生活するためには、道路、鉄道、空港、港湾といった交通・通信施設、川や海の護岸や堤防等の防災施設、また上下水道や電力・ガスなどの施設が必要です。さらに、都市の緑化や生物多様性の保護・復元等も重要となっています。理論や知識の教授だけでなく、まちづくりに関する実験・実習を通して、安全・安心で快適な「まち」を創造することができる技術者を養成します。

都市空間インフラ専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 都市空間インフラ専攻の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (2) 安全・安心で快適な都市環境をデザインしたい人
- (3) 自然と人工物の調和に関心がある人
- (4) 「まちづくり」の仕事がしたい人
- (5) 地図に残る「ものづくり」をしたい人

＜情報システム学科＞

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたサイバーフィジカルシステム(CPS)により、データを最大限活用したデータ主導型の超スマート社会が形成されようとしています。そうした社会の状況を踏まえ、情報システム学科では情報技術の専門教育を通して、情報システムの作り手・使い手としての専門的な知識・技術を有する人材を養成します。

情報システム学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 将来、コンピュータやネットワークシステム、人工知能やデータサイエンスにかかわる技術者として社会に貢献したいと考える人
- (2) コンピュータやネットワークシステム、人工知能やデータサイエンスに興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (3) コンピュータを動作させるプログラムに興味をもち、その習得に積極的な人
- (4) 基礎的な数学の能力をもち、物事を理論的に説明でき、問題を解決できる人

＜情報デザイン学科＞

ますます高度情報化する社会において、ビジネスを発展させたり、人の心や生活を豊かにしたりするデザインの役割が高まっており、デザインで活躍できる人が期待されています。

情報デザイン学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 身の回り、そして広く社会にある色、形、素材などに興味・関心があり、それらの組み合わせや表し方を追求することに意欲のある人
- (2) グラフィックス、音楽、映像、造形などに興味・関心があり、先進的かつ実践的な創作やものづくりに意欲のある人
- (3) コンピュータのソフトウェアの動作や仕組み、ならびに、コンピュータで動く3Dプリンタの操作など、情報機器の理解・活用に興味・関心がある人
- (4) 時代の流れや社会の様子に敏感で、他の人たちと協力して、実業界で活躍したり、社会に貢献したりすることに意欲のある人

＜総合情報学科＞

総合情報学科は、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を有する有為な人材を養成するために、情報学、経営学、スポーツ学という三つの学びの分野を提供し、PBL(Project-Based Learning 課題解決型学習)によって実学教育の具現化に努めています。

総合情報学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 幅広い教養と専門知識を実践に活かし、自ら主体的にデータ分析・問題解決を行い、企業社会の中で活躍を望む人
- (2) 専門知識と経験を活かし、幅広い観点から優れたマネジメントを行うことに興味のある人
- (3) 専門知識やマネジメント能力を、地域活性化などあらゆる社会活動に役立てることに意欲のある人
- (4) 活躍の場を広く求めコミュニケーション能力の向上に意欲的な人
- (5) 指導力・統率力を発揮し、ビジネス・リーダーになりたい人
- (6) 未知の領域に挑戦する勇気のある人
- (7) 地域や社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人

本学では、社会人教育の一環として、高等学校等を卒業し、現在、企業・事業所等に在職している技術者を対象に、必要な知識の修得と能力の向上を目的とした委託学生制度を実施しています。

1. 募集学科・募集人員

学 部	学 科 / 専 攻	募集人員
工 学 部	機械工学科	若干名
	機械システム工科	
	電気電子工学科	
建 築 学 部	建築学科／建築専攻	
	建築学科／インテリアデザイン専攻	
	建築学科／かおりデザイン専攻	
	建築学科／都市空間インフラ専攻	
情報学部	情報システム学科	
	情報デザイン学科	
	総合情報学科	

2. 出願資格

次の条件をすべて満たす者。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者および文部科学大臣が高等学校卒業と同等以上の学力を有するものとして認めた者。
- (2) 企業等に在職し、当該企業等が推薦する者。

3. 入学試験日程

出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日
2026年2月2日(月) ～2月12日(木)	2026年2月21日(土)	2026年2月28日(土)

4. 出願書類

	書 類 名	注 意 事 項
1	志 願 票	本学所定用紙 ・ 志願学科／専攻、氏名、履歴（学歴）、志願者連絡先、担当者連絡先等必要事項を明記してください。
2	写 真 票	本学所定用紙 ・ 出願日より3ヶ月以内に撮影した上半身正面、脱帽、背景なしの40mm×30mm写真を所定欄に貼付してください。
3	推 薦 書	本学所定用紙 ・ 委託依頼会社の推薦書
4	調 査 書	・ 出身高等学校長が出願日より3ヶ月以内に作成し、厳封したもの（開封無効）。
5	会 社 経 歴 書	・ 様式自由で、会社の内容がわかり、会社印または代表者印が押印されたもの。 ・ 複数の受験者がいる場合は、1通で結構です。

(注) 受験票は、試験日のおよそ1週間前までに勤務先の担当者宛にメールにて送付します。
受験票が届きしだい受験者に渡してください。

5. 入学検定料 35,000円

- (1) 本学所定の振込依頼書を使用し、出願期間中に銀行窓口にて振込んでください。
(ATMからやネットバンキングからも振込可)
なお、振込依頼書に記入する受験番号は大同大学入試・広報室に確認してください。
- (2) 銀行窓口で振込みした場合、振込依頼書に付いている振込受領書が発行されます。確認の上、しばらく大切に保管してください。(ATM利用の場合は【ご利用明細】を、インターネットバンキングでは【入金明細照会】または【お取引記録】でご確認ください)
- (3) 振込手数料は本人負担となります。
- (4) 一旦納入した入学検定料は、事由のいかんを問わず返還いたしません。

6. 出願上の注意

- (1) 出願用封筒は、市販の角2型(A4サイズの紙が折らずに入る封筒)の表に本学所定の用紙を貼り付けしたものを使用して下さい。
- (2) 出願は、速達簡易書留での郵送とし、出願期間締切日までの消印有効とします。
- (3) 出願書類が不備の場合には、受付ができませんので、注意してください。
- (4) 出願書類提出後の志願学科等の変更は、一切認められません。
- (5) いったん受理した出願書類は、事由のいかんを問わず返還いたしません。

7. 心身に障害のある場合

- (1) 就学上、特別の配慮を必要とする方は、大学における学習サービスの観点から、個別に面談を実施する場合があります。
- (2) 出願に先立ち出願期間開始日より2週間前までに入試・広報室まで連絡してください。

8. 選考方法

書類審査、学力試験(中期入学試験)、面接試験により総合評価して、可否を決定します。

<中期入学試験の内容>

①理系型受験

必須の数学(150点満点)、外国語(100点満点)もしくは理科(物理・化学のどちらか)(100点満点)を受験し、数学と他の科目の計250点満点。

②文系型受験

外国語・国語の2教科を受験し、高得点の教科を150点満点とし、他の教科100点満点の計250点満点。

★入試科目・配点・試験時間

<理系型受験>

時限	教科	試験時間		試験科目の内容
1限	外国語 もしくは 理科	60分	10:00~11:00	『英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ』 『物理基礎、物理』あるいは『化学基礎、化学』
2限	数学	90分	11:30~13:00	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A(「図形の性質」、 「場合の数と確率」)、数学B(「数列」)、数学C(「ベクトル」、 「平面上の曲線と複素数平面」)』

<文系型受験>

時限	教科	試験時間		試験科目の内容
1限	外国語	60分	10:00～11:00	『英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ』
2限	国語	60分	11:30～12:30	『現代の国語、言語文化(近代以降の文章)、論理国語』

(注) 『 』は、複数の科目を総合、または共通した内容からの出題とする。

9. 試験会場および集合時間

大同大学 (試験会場案内図 13 ページ参照)

※試験開始 30 前迄に来学し、試験室へ入室してください。

10. 試験当日の注意

(1) 受験票は、必ず持参してください。試験日の 3 日前になっても受験票が届かない場合は入試・広報室にご連絡ください。

(注) 万一忘れた場合は、受付もしくは係員に速やかに申し出てください。

(2) 筆記用具は、必ず持参してください。

・別途持参する物がある場合は、受験票の通信欄にて指示します。

・時計の持ち込みは、時刻を表示するものに限りません。

(3) 試験開始後 30 分以上遅刻した場合は、受験できません。

・試験開始時刻に遅れた場合は、直ちに係員に申し出てください。

・試験開始後 30 分以降の試験室への入室は、認められません。

(4) 試験室入室後は、試験監督者の指示に従ってください。

11. 合格発表

2026 年 2 月 28 日 (土) 午前 9:00～

合格発表は、「合否照会システム」 (<https://exam-entry.52school.com/daido-it/result>) を利用して行い、学内掲示および本学の HP での発表は行いません。合格通知書は合否照会システム内の合格発表画面からダウンロード、印刷が可能です(合格発表日の翌日から可能となります)。

12. 入学手続き

合格者は合否照会システムの合格発表画面から入学手続きシステムにアクセスできるようになっています。入学手続きシステムのログインには合格発表画面に記載されているログイン ID が必要です。入学手続きは、大同大学 HP「入学手続きについて」 (https://www.daido-news.jp/admission/entrance_exam/tetsuzuki/) に掲載している入学手続き案内を確認の上、指定の納付金を下記の期限までに納付してください。

納入方法	納入期限	
	入学金	前期分の授業料等
一括納入	2026 年 3 月 6 日 (金)	

(1) 入学手続き期限までに手続きをされない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 納付金の手続きの詳細については大同大学 HP の「入学手続きについて」 (https://www.daido-news.jp/admission/entrance_exam/tetsuzuki/) を参照してください。

13. 納付金

【工学部全学科、建築学部、情報学部／情報システム学科、情報学部／情報デザイン学科】

(1) 学生納付金

(単位：円)

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	入学手続時		前期分	後期分	前期分	後期分	前期分	後期分
	一 括 払 い		一括払い(3月末迄)		一括払い(3月末迄)		一括払い(3月末迄)	
入 学 金	300,000	---	---	---	---	---	---	---
授 業 料	470,000	470,000	480,000	480,000	490,000	490,000	500,000	500,000
施設設備費	172,500	172,500	177,500	177,500	182,500	182,500	187,500	187,500
計	942,500	642,500	657,500	657,500	672,500	672,500	687,500	687,500
年 額 計	1,585,000		1,315,000		1,345,000		1,375,000	

(2) 代理徴収金

(単位：円)

区 分	1 年 次				2 年 次 以 降		
	入 会 金	会 費		年額計	会 費		年額計
	入学手続時	入学手続時	後期分	(一括払い)	前期分	後期分	(一括払い)
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	3,300	---	3,300	---	---	---
計	22,000	20,300	14,000	56,300	17,000	14,000	31,000

(注) 同窓会費は、入会金 20,000 円を 1 年次に、終身会費 40,000 円を 4 年次に別途徴収いたします。

【情報学部／総合情報学科】

(1) 学生納付金

(単位：円)

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	入学手続時		前期分	後期分	前期分	後期分	前期分	後期分
	一 括 払 い		一括払い(3月末迄)		一括払い(3月末迄)		一括払い(3月末迄)	
入 学 金	300,000	---	---	---	---	---	---	---
授 業 料	360,000	360,000	370,000	370,000	380,000	380,000	390,000	390,000
施設設備費	162,500	162,500	167,500	167,500	172,500	172,500	177,500	177,500
計	822,500	522,500	537,500	537,500	552,500	552,500	567,500	567,500
年 額 計	1,345,000		1,075,000		1,105,000		1,135,000	

(2) 代理徴収金

(単位：円)

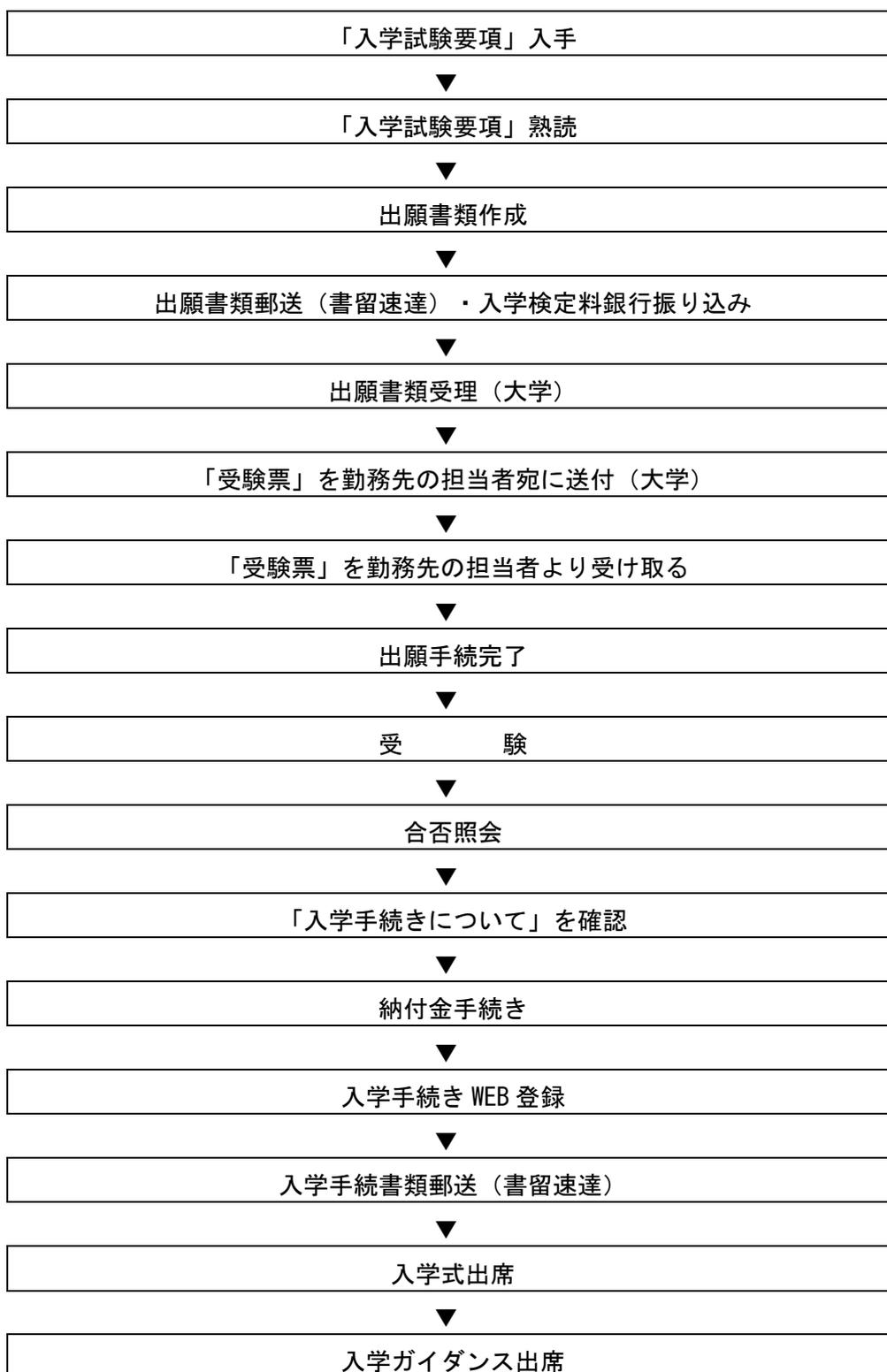
区 分	1 年 次				2 年 次 以 降		
	入 会 金	会 費		年額計 (一括払い)	会 費		年額計 (一括払い)
	入学手続時	入学手続時	後期分		前期分	後期分	
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	3,300	---	3,300	---	---	---
計	22,000	20,300	14,000	56,300	17,000	14,000	31,000

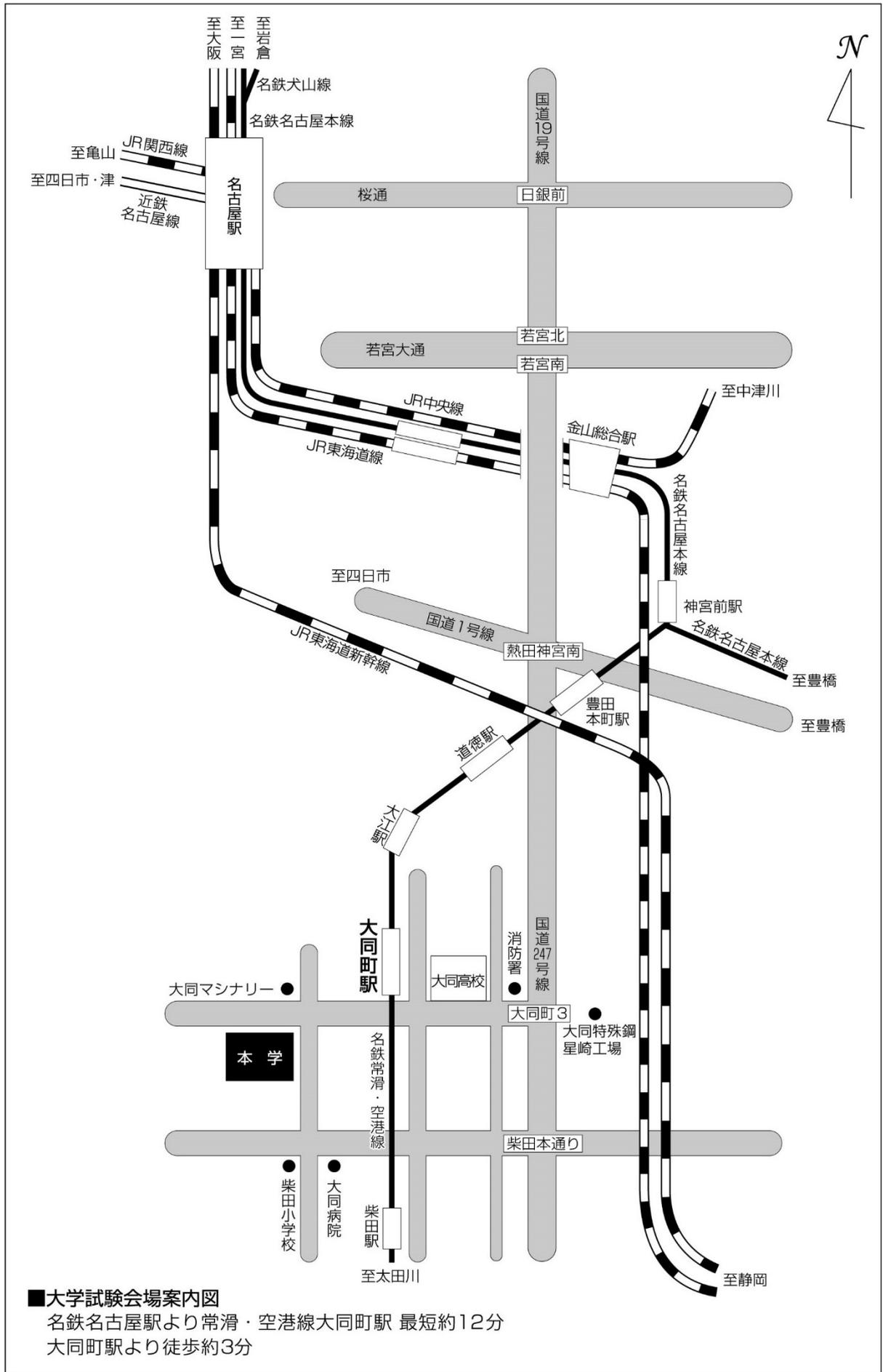
① 同窓会費は、入会金 20,000 円を 1 年次に、終身会費 40,000 円を 4 年次に別途徴収いたします。

14. 入学後の取扱い

- (1) 本学の一般学生として在籍し、特別な配慮はしません。
- (2) 本学の学部の卒業を認定し、学位記（卒業証書）を発行します。

出願から入学まで





大同大学

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3
フリーダイヤル 0120-461-115
TEL (052) 612-6119 (直通)
FAX (052) 612-0125
ホームページ <https://www.daido-it.ac.jp>
E-mail nyushi@daido-it.ac.jp